

平成27年度の 主な事業 (抜粋)

「人がつながる田園都市 安芸高田」の実現のため、平成27年度に新たに取り組んだ事業などの一部を紹介します。

- **人が集い育つまちづくりへの挑戦**
 - ・ 地方版総合戦略策定事業
 - ・ サテライトオフィス・企業誘致事業
 - ・ 空き家等活用・定住促進PR事業
 - ・ 地域おこし協力隊配置事業
 - ・ 学校規模適正化推進事業
 - ・ ICT活用事業
 - ・ スクールサポーター配置事業
 - ・ 保育料の軽減事業
- **安心して暮らせるまちづくりへの挑戦**
 - ・ インフラの老朽化調査・耐震診断事業
 - ・ 若年性生活習慣病予防事業
 - ・ 生活習慣病重症化予防事業
 - ・ 認知症早期予防対策事業
 - ・ 高血圧重症化予防対策事業
 - ・ ECOモデルタウン事業
- **地域資源を活かしたまちづくりへの挑戦**
 - ・ 農作物の産地化・商品開発事業
 - ・ 地域情報発信強化事業
 - ・ ほ場整備事業
 - ・ ジビエ特産化事業
 - ・ 食肉処理施設浄化槽設置事業
 - ・ プレミアム付商品券発行事業

平成27年度決算 特別会計の 決算状況

※万円未満の数値は切り捨てています。

	介護保険特別会計 歳入 44億1,746万円 歳出 42億7,570万円 老後の安心をみんなで支える介護保険を運営する会計です。介護や見守り支援が必要と認められた要介護認定(要支援認定)者は平成27年度末で2,704人でした。		後期高齢者医療特別会計 歳入 4億1,688万円 歳出 4億 789万円 主に75歳以上の方が加入する後期高齢者医療保険を運営する会計です。平成27年度末加入被保険者は、6,485人でした。		国民健康保険特別会計 歳入 43億431万円 歳出 40億393万円 国民健康保険を運営する会計です。平成27年度末で加入世帯が4,400世帯、加入被保険者は6,807人でした。
---	---	---	---	---	---

	農業集落排水事業特別会計 歳入 4億1,090万円 歳出 4億1,083万円 市内12地区に整備している農業集落排水施設の管理事業です。広島県発注の高規格道路東広島高田道路建設工事に伴い支障となる農業集落排水管の移設工事を実施しました。		特定環境保全公共下水道事業特別会計 歳入 4億1,747万円 歳出 4億1,734万円 八千代・甲田・向原処理区を対象に事業を実施しています。主要地方道吉田豊栄線交通安全施設工事に伴う下水道管の移設工事を実施しました。		公共下水道事業特別会計 歳入 2億4,671万円 歳出 2億4,658万円 吉田都市計画区域の用途地域内で事業を実施しています。排水設備普及促進補助金により水洗化率の向上を図りました。		介護サービス特別会計 歳入 190万円 歳出 190万円 介護保険の要支援・要介護認定者のうち、要支援1・2の高齢者の介護予防サービスを運営する会計です。448人分の介護予防サービス計画を策定しました。
---	--	---	---	---	--	---	---

	飲料水供給事業特別会計 歳入 1,335万円 歳出 1,332万円 高宮町2区域へ安全で安心な水を安定的に供給するため、施設の適正管理を行いました。		簡易水道事業特別会計 歳入 8億6,611万円 歳出 8億6,588万円 市内13認可区域へ安全で安心な水を安定的に供給するための施設の管理及び八千代給水区の水量拡張工事、美土里給水区の区域拡張工事を行いました。		コミュニティ・プラント整備事業特別会計 歳入 999万円 歳出 997万円 甲田町の吉田口地区が対象の施設管理事業です。大型浄化槽による処理場の適正管理を行いました。		浄化槽整備事業特別会計 歳入 3億958万円 歳出 3億946万円 集合型下水処理区域外で各家庭に市が浄化槽を設置し管理していく事業です。平成27年度は92基新設しました。管理総数は2,903基となっています。
---	--	---	--	---	---	---	---



ほ場整備事業……………8,880万円
担い手への農地集積を図り、農産物の生産性の向上と効果的で安定した農業経営の確立を促進するため、下甲立地区の基盤整備を行い、担い手((株)れんげ)に農地を集積することができました。また、平成27年度より県営事業として実施する原山地区について、広島県西部農林水産事務所と連携を図り、事業推進を行い、県営事業負担金の支払いを行いました。平成28年度より農地集積されたイオンアグリ創造により、キャベツ等の定植が行えることとなりました。



ICT活用事業……………4,002万円
教育のICT化推進事業に係る機器整備5カ年計画に基づき、向原小学校と向原中学校をモデル校に選定し、全普通教室(9教室)へ電子黒板機能内臓プロジェクター、実物投影機、マグネットスクリーン、接続ボックス、教員用PCを整備しました。また、特別支援学級用タブレット端末を13台ずつ、計26台を整備しました。



農作物の産地化・商品開発事業……………1,827万円
ふるさと応援の会関東支部の協力を得るとともに、地域おこし協力隊員を受け入れ、6次産業化プロジェクトを立ち上げ、「調理用トマト」「辛味大根」「薬用作物」の試験栽培、加工を行いました。調理用トマト収穫後、加工業者によるピュレ試作を行い、ひろしま安芸高田神楽東京公演、産直市でテスト販売を行いました。



地域情報発信強化事業……………1,254万円
光ネットワークの利活用として、広域ネットワークの空き線を活用し、公衆無線LAN(Wi-Fi)のアクセスポイントを6箇所設置しました。併せて、訪日外国人旅行者が利用可能なシステムを導入しインバウンド対応を進めました。また、地域おこし協力隊員による地域情報発信として、お太助フォンやフェイスブック等を利用し、安芸高田市の地域情報を市内外へ発信することにより、安芸高田市の魅力アップを図りました。

損益計算書	
収 益	2億7,261万円
費 用	2億6,903万円
特 別 利 益	0万円
特 別 損 失	123万円
当年度純利益	233万円
貸借対照表	
固定資産合計	31億8,452万円
流動資産合計	3億2,211万円
資 産 合 計	35億664万円
負 債 合 計	24億3,790万円
資 本 合 計	10億6,873万円
負債資本合計	35億664万円

水道事業
水道事業は、安全で安心な水を安定的に供給するため、適正な施設管理を行うとともに、配水管更新工事、浄水場制御盤更新工事等の水道施設整備を実施し、効率的な経営に努めました。

企業会計
企業会計とは、地方公営企業法の全部または一部の適用を受ける公営企業の会計をいいます。損益計算書と貸借対照表などで構成されています。安芸高田市では吉田町、甲田町の区域(一部)で地方公営企業法に基づき水道事業を経営しています。